

Dm-コントローラーをカメラに装着することで、Dm-360 / Dm-360TTL(別売)のワイヤレス操作が可能です。

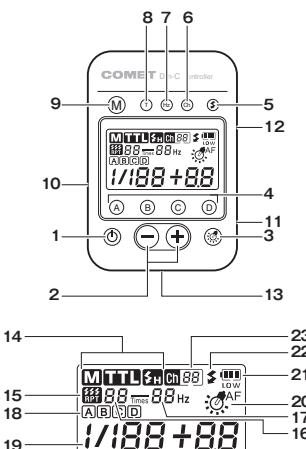
また、マニュアルモードのほかにマニュアル高速シャッターモード、TTLモード、TTL高速シャッターモード、マルチ発光モードなど多彩なモードが使用可能です。

※ Dm-コントローラーに搭載されているTTLモード、TTL高速シャッターモード機能はDm-360TTLにて使用する機能です。

※ マニュアル高速シャッターモード、TTLモード、TTL高速シャッターモード、マルチ発光モードはカメラの対応機種に制限があります。対応機種はDm-360付属のカメラリストシールをご参照ください。

セット内容 ●Dm-コントローラー ●RS-Tシンクロコード
●アルカリ乾電池單4形(1.5V) ×2本 ●マニュアル(本書) ●保証書

■各部の名称とはたらき



1 メインスイッチ

- ・電源スイッチです。
長押しするとコントローラー本体の電源がONになります。
もう一度長押しするとOFFになります。
使用後は必ずOFFにしてください。
- ・電源ONの状態で押すとディスプレーが3秒間点灯します。
- ・Dm-コントローラーは電源をONにした状態で30分間操作しないと、自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ機能)

2 +スイッチ/-スイッチ

ストロボ出力を0.1EVステップで調光します。
光量を上げるときは+スイッチ、下げるときは-スイッチを押します。
光量のほかにチャンネルナンバー(Ch)やマルチ発光モードの発光回数(T)、発光周波数(Hz)を設定する際に使用します。

3 モデリングランプスイッチ

モデリングランプモードを切り替えます。
「消灯」、「出力連動調光」
「100%点灯」、「AF-ON」

4 グループスイッチ(A/B/C/D)

ABCDEFいずれかのグループを選択することでDm-360(別売)をグループごとに無線コントロールできます。
長押しすることで、グループの灯体をOFFにします。
もう一度長押しするとONになります。

コメット株式会社

〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1

www.comet-net.co.jp

TEL (03)5916-5786 FAX (03)5916-5872

5 テスト発光スイッチ

テスト発光する場合は押してください。
同じチャンネルナンバーのストロボが無線シンクロ発光します。

6 チャンネル設定スイッチ

押すとコントローラーのチャンネルナンバーが点滅しチャンネルナンバー設定モードになります。

+/-スイッチで01 ~ 80Chに設定します。
設定が完了したらもう一度スイッチを押してください。

7 [Canon] 高速シャッターモード切り換えスイッチ/マルチ発光モード切り換え-発光周波数スイッチ (Hz)

- ・発光モードが「マニュアルモード(M)」のとき、「マニュアル高速シャッターモード(M+H)」に切り替えます。
「TTLモード(TTL)」のとき、「TTL高速シャッターモード(TTL+H)」に切り替えます。
※もう一度押すと高速シャッターモードを解除します。
- ・「マルチ発光モード(RPT)」のとき、発光周波数(Hz)の数値が点滅します。
+/-スイッチで発光周波数を設定します。
設定が完了したらもう一度スイッチを押してください。

7 [Nikon] マルチ発光モード-発光周波数スイッチ (Hz)

- ・長押しすると発光モードを「マルチ発光モード(RPT)」に切り替えます。
- ・「マルチ発光モード(RPT)」のとき、発光周波数(Hz)の数値が点滅します。
+/-スイッチで発光周波数を設定します。
設定が完了したらもう一度スイッチを押してください。

8 マルチ発光モード-発光回数設定スイッチ (T)

- ・長押しすると発光モードを「マルチ発光モード(RPT)」に切り替えます。
- ・「マルチ発光モード(RPT)」のとき、発光回数(T)の数値が点滅します。

+/-スイッチで発光回数を設定します。
設定が完了したらもう一度スイッチを押してください。

9 モードスイッチ (M)

発光モードを「TTLモード(TTL)」と「マニュアル(M)」に切り替えます。
または、「TTL高速シャッターモード(TTL+H)」と「マニュアル高速シャッターモード(M+H)」に切り替えます。
2秒間の長押しで、各設定がリセットされ発光モードは「マニュアルモード」(出力1/4)になります。

10 シンクロソケットΦ2.5(INPUT)(側面)

シンクロターミナル内蔵のカメラと付属のシンクロコードで接続します。
ホットシュー接点のあるカメラは使用しません。
発光モードはマニュアル(M)にセットしてください。

11 機能拡張端子(PROGRAM)(側面)

ファームウェアアップデート用の端子です。
その他の用途に使用しないでください。

12 電池収納部(底面)

単4形乾電池(1.5V) 2本をセットします。
極性表示に従い、正しい向きにセットしてください。

13 ホットシュー(底面)

カメラのアクセサリーシューにしっかり差し込み、固定リングを矢印の方向に回して固定します。

14 モード表示

発光モードを表示します。

- ・TTLモード(TTL) ※
カメラのシャッターが先幕シンクロのとき、適正ストロボ出力を計算し発光します。
- ・マニュアルモード(M)
カメラのシャッターが先幕シンクロのとき、ご希望のストロボ出力を設定できます。
- ・TTL高速シャッターモード(TTL+H) ※

カメラのシャッタースピードが1/8000までの高速シャッターのとき、適正ストロボ出力を計算し発光します。

- マニュアル高速シャッターモード（M+H）
カメラのシャッタースピードが1/8000までの高速シャッターのとき、ご希望のストロボ出力を設定できます。

15 マルチ発光モード表示 (RPT)

16 発光回数表示 (Times)

マルチ発光モードのとき、発光回数(Times)を表示します。

17 マルチ発光モード発光周波数表示 (Hz)

マルチ発光モードのとき、発光周波数(1秒間の発光回数) (Hz)を表示します。

18 グループ表示 (A/B/C/D)

グループスイッチで選択したグループを□枠で表示します。

グループスイッチを「OFF」にすると□枠が点滅します。

19 出力表示

ストロボ出力を表示します。

※TTLモード/TTL高速シャッターモードはDm-360TTLにて使用する機能です。

■Dm-コントローラーの準備

1. コントローラー底面の電池フタを開けてアルカリ乾電池単4形(1.5V)2本をセットします。電池収納部の極性表示に従い、正しい向きにセットしてください。

※充電式電池(1.2V)は使用できません。

※電池残量が少なくなるとDm-コントローラーからの操作到達距離が短くなったり、Dm-360の不発が起きます。このような場合は新しい電池に交換してください。

2. カメラにDm-コントローラーを装着しDm-コントローラーとカメラの電源をONにします。

※カメラにDm-コントローラーを装着する際は、それぞれの電源をOFFにしてください。

■Dm-コントローラーの出荷時設定への戻し方

Dm-コントローラーのモードスイッチ(M)を2秒押すと、コントローラーと、コントローラーと同じチャンネルに設定したDm-360がすべて、出荷時設定に戻ります。

(マニュアルモード(出力1/4)・チャンネル1・グループA・LEDモーデリングOFF)

- 万が一戻らない場合は、一度電池を外して再度取り付けてください。

グループスイッチを「OFF」になると「OF」が点滅表示します。

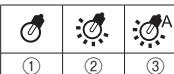
20 モデリングランプモード表示

・消灯

モデリングランプ「OFF」

• ①調光マーク

出力連動調光



• ②100%マーク

100%点灯

• ③AF-ONマーク

カメラのシャッターを半押しで点灯。シャッターを押してストロボ発光後に消灯。

21 バッテリーインジケーター

Dm-コントローラーの電池残量を表示します。電池残量が少なくなると「Low」が表示されます。

22 無線シンクロ発信マーク

Dm-コントローラーから無線シンクロ信号を発信したときに表示されます。

23 チャンネルナンバー表示 (Ch)

チャンネルナンバー 01 ~ 80Chを表示します。

【ご注意】

- Dm-コントローラーをご使用になる場合は、操作・設定はDm-コントローラーにて行ってください。Dm-360本体を直接操作すると、コントローラーとDm-360の設定に違いが発生し、撮影に支障をきたす恐れがあります。
- Dm-コントローラーの動作距離は、見通しの良い場所で最大70m以内です。Dm-コントローラーから複数のDm-360を操作する場合、極まれに受信できないストロボがたり、到達距離が短くなるなどの影響がでることがあります。Dm-コントローラーでDm-360を操作したときは、コントローラーからのワイヤレス操作がストロボに反映(受信)されていることをご確認ください。
- 無線周波数帯域での干渉や、壁、コンクリート、水辺、使用環境の特性により、操作距離が短なることがあります。また、不発光、同調不良、誤動作が起きる場合もあります。
- Dm-コントローラーは無線LANと同様に 2.4GHz帯の周波数を使用しています。無線LAN環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。(使用周波数：2.402GHz ~ 2.481GHz)
- Dm-コントローラーをカメラに装着、取り外しをする際は必ず、コントローラーとカメラ本体のメインスイッチを「OFF」にしてください。
- 撮影の際はカメラのシャッターボタンを半押しして、ピント合わせが確実に完了してから、シャッターボタンを全押してください。
不発光、同調不良の原因となります。
- 使用するカメラのファームウェアは最新のバージョンをご使用ください。

■仕様

品名

Dm-コントローラー Nikon用/Canon用

型式	DM-N-CO/DM-C-CO
使用周波数	2.402GHz ~ 2.481GHz
チャンネル数	80チャンネル
フラッシュグループ	4グループ(A/B/C/D)
動作距離	70m以内 ※使用環境により異なります。 TTLモード：先幕シンクロ マニュアルモード(M)：先幕シンクロ
シンクロスピード	TTL高速シャッターモード(TTL+H) : ~1/8000sec マニュアル高速シャッターモード(M+H) : ~1/8000sec ※カメラの機種により異なります。
シンクロソケット	ホーンジャック(2.5φ) 有り
機能拡張端子	アルカリ乾電池単4形(1.5V) 2本
使用電池	有り(無操作30分間で作動)
オートパワーオフ	54(w)×42(h)×83(d)mm
寸法	66g(本体のみ)
重量	

● 本仕様は2017年8月現在のものです。改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。